

地盤品質判定士，地盤品質判定士補，ならびに地盤品質判定士協議会関係者の皆様へ

熊本地震の発生から3ヶ月半が経過し，被災宅地の復興・再建に向けて地盤品質判定士への期待が高まっていますが，被災宅地相談は，単に地盤工学的知識だけでは対応できないことが多く，東日本大震災・他の過去の被災対応での知見・教訓を活かすことが重要と考え，地盤品質判定士会では，別紙の通り8月30日(火)に『熊本地震に関連した意見交換会』を計画しましたので，ご案内致します。

開催概要は，次のページをご参照ください。

《追伸》

地盤品質判定士通信は，関係者の情報交換の場です。地盤品質判定士・補および関係者の方々からの寄稿を歓迎致します。

《地盤品質判定士補の皆様へ》

従来，地盤品質判定士補の登録者が，一次試験免除で二次試験を直接受験できる特典は，登録年度後の3年間に限定されていましたが，『地盤品質判定士 資格決定試験 規則 第20条第3項』が2016年3月24日の理事会で変更され『3年間』の制約が削除されました。これより，地盤品質判定士補の登録者は，登録後3年目以降も，また，補として登録更新していれば，一次試験免除で二次試験を直接受験できる特典が継続することになっていますので，お知らせいたします。

2016年7月27日(水)  
地盤品質判定士協議会事務局

---

## 熊本地震に関連した意見交換会の開催

平成 28 年 7 月 吉日  
地盤品質判定士会

主 旨：平成 28 年 4 月に発生した熊本地震から 3 か月が経過しましたが、被災地では、今なお、避難生活を余儀なくされている方が多くおります。  
被災した家屋の中には、全壊・半壊や倒壊のおそれがあると判定されたものも多く、避難生活が長期化することも想定されています。そのような状況下でも、被災宅地を含めた住宅環境の復旧・復興に向け、様々な取組みが動き始めています。  
被災宅地の復旧・復興にあたり、5 年前に起きた東日本大震災で得られた多くの知見・教訓は必要不可欠な情報です。また、熊本地震でも顕著になった地盤災害の事例を知り、そこから学ぶことは、地盤品質判定士にとって技術力の維持・向上につながるものの一つです。  
地盤品質判定士の中には、すでに熊本地震に関連する被災宅地の復旧事業に携わっている方や、これから活動を開始しようとしている方がおられることと思います。  
本意見交換会では、地盤災害の被災事例とその復旧対応を中心に話題提供していただき、多くの地盤品質判定士や地盤品質判定士を目指す技術者並びに地盤品質判定士と連携して活動している方と意見交換して、認識を深めていただくことを主旨に企画しました。ふるってご参加くださるよう、お願い申し上げます。

開催日：平成 28 年 8 月 30 日（火） 13:00～16:00

対象者：地盤品質判定士やそれを目指す技術者、並びに地盤品質判定士と連携して活動している方

会 場：地盤工学会 大会議室（東京都文京区千石 4-38-2）

定 員：80 名

資料代：1,000 円

受付開始時間：12:30～13:00

申込み先：地盤品質協判定士協議会 Eメール：jage2@jiban.or.jp, FAX：03-3946-8678

申込み方法：氏名・所属・連絡先（所属先住所、同電話番号、FAX 番号、メールアドレス）を申込み先へメールまたは FAX でお知らせください。

（※ 定員に達してお断りする場合にはご連絡をいたします。）

### 話題と話題提供者

1. 話 題 被災宅地の復旧における留意点—東日本大震災後の仙台市の事例—  
提 供 者 株式会社 復建技術コンサルタント 佐藤 真吾  
時 間 13:00～14:00
2. 話 題 建築構造と地盤構造の両面からみた熊本県益城町の住宅被害  
提 供 者 前橋工科大学 工学部 森 友宏  
時 間 14:00～15:00
3. 話 題 熊本地震の復旧に向けた地盤品質判定士協議会の取り組み  
提 供 者 地盤品質判定士協議会事務局長 中村 裕昭  
地盤品質判定士（熊本県在住） 田尻 雅則  
時 間 15:10～16:00